

令和元年度事業計画書

【概要】

淡路島くにうみ協会は、平成 21 年 4 月 1 日に財団法人淡路 21 世紀協会と財団法人淡路花博記念事業協会とが統合して発足した。

11 年目を迎える令和元年度も、引き続きすべての島民の創意と行動力を結集して「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」を目指して、「淡路を担う人づくり」「花と緑豊かな環境づくり」「活気あふれる地域づくり」「あわじ環境未来島構想の推進」の 4 つの柱で淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進する。

【事業の内容】 () 内は予算額

I 淡路を担う人づくり

1 淡路島くにうみ講座 (4,294 千円)

淡路島の活性化と人づくりを目的として、島内外の多くの人々が淡路島のすばらしい自然、歴史、文化等への理解を深める講座を開催する。

《実施回数》

- ・ 6 回程度

2 永田青嵐顕彰全国俳句大会 (2,800 千円)

淡路島出身の偉人 永田青嵐（本名：永田秀次郎）を全国に発信し、俳句文化を通じたふるさと意識の高揚や、交流人口の増加による淡路島の活性化を図るため、第 11 回目となる全国俳句大会を実施する。

《実施スケジュール》

- | | |
|------------|---------------------|
| ・ 投句募集 | 令和元年 6 月～9 月 |
| ・ 表彰式 | 令和 2 年 2 月 23 日（日祝） |
| ・ 淡路島吟行ツアー | 令和 2 年 2 月 24 日（月休） |
| ・ 俳句入門講座 | 令和元年 7 月（3 回連続講座） |
| ・ 俳句出前講座 | 3 回程度 |

3 花づくり人材育成事業 (2,145 千円)

(1) 花づくり講習会講師派遣事業

花づくり技術の向上や花づくり体験を目的とした講習会を開催する団体等に花づくりの専門家を派遣し、材料費等一部を助成する。

- ・ 講師の派遣 15 回程度（NPO 法人あわじ緑花協会に委託）
- ・ 派遣対象 自治会、花づくりグループ等

(2) まちづくりガーデナー奨励事業

淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため、県立景観園芸学校で学び、「まちづくりガーデナー」として知事認定を受けた者に受講料の一部を助成する。

(3) 若手景観園芸人材育成支援事業

景観園芸を学ぶ若者の海外施設での高度な植栽管理等を学ぶ短期研修に係る経費の一部を助成する。

II 花と緑豊かな環境づくり

1 淡路花祭（15,334千円）

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため、関係機関・団体と連携・協働し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催する。

(1) 淡路花祭 2019 春

- ・期 間 平成 31 年 3 月 16 日(土)～令和元年 6 月 2 日(日)
- ・オープニング会場 淡路ファームパーク イングランドの丘（南あわじ市）

《主要事業》

- ・オープニングイベント（三原志知小学校和太鼓演奏、ゆるキャラPR、花植え体験）
- ・シンボルオブジェ「渦潮と大鳴門橋」の展示（うずしおドームなないろ館）
- ・島民花飾りの展示（淡路ファームパーク イングランドの丘）
- ・お絵かき花壇づくりコンテスト
- ・花物語クイズラリー
- ・淡路花祭フォトコンテスト

(2) 淡路花祭 2019 秋

- ・期 間 令和元年 9 月～11 月
- ・オープニング会場 淡路市

(3) 冬咲きチューリップショー

花の少ない冬季に、新たな花の名所づくりを目的として冬咲きチューリップショーを開催する。

- ・期 間 令和 2 年 1 月～2 月
- ・場 所 洲本市民広場ほか

(4) 淡路花祭 2020 春

- ・期 間 令和 2 年 3 月～5 月
- ・オープニング会場 洲本市

2 花街道づくり事業（2,951千円）

観光客等からよく見える国道・県道又は交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花による街道づくりを実施する団体に対し上限 20 万円の助成を行う。

3 あわじ花へんろ事業（6,520千円）

花の島・淡路島の魅力を満喫していただくため、花の名所、景勝地、観光施設等 72 箇所を「花の札所」として紹介する。

《事業内容》

(1) 花の札所拡充事業助成

「花の札所」としての魅力向上に取り組む札所を支援するため、整備等について上限 20 万円の助成を行う。

(2) 「花の札所」開花状況等情報提供促進奨励金

「花の札所」をPRするために発行する「花の札所 花だより」に情報提供を行う施設に対して奨励金を交付する。

(3) 連絡会の開催

あわじ花へんろ事業の推進について意見交換を行う連絡会を開催する。

（連絡会の構成：「花の札所」管理者、淡路県民局、3市、淡路島くこうみ協会）

- (4) 「あわじ花へんろ」四季のスタンプブックデジタルアプリの製作【新規】
花の札所スタンプブックアプリを製作し、アプリのダウンロードによりスマートフォンによるモバイルスタンプラリーを可能にする。
- (5) 「2020 花の札所カレンダー」の作成（令和元年 12 月）
四季折々の花の札所を特集した 12 月カレンダーを作成し、会員や関係機関に配布する。
- (6) 広報
① 「あわじ花へんろ」四季のスタンプブックの作成（令和 2 年 2 月）
② 「花の札所 花だより」の発行（毎月）
このほか、協会ホームページや各種広報媒体により、広く情報を発信する。

4 環境美化事業（488 千円）

「環境立島淡路」島民会議に参画し、「環境美化月間」の「淡路全島一斉清掃の日」活動に係る広報活動を実施する。

Ⅲ 活気あふれる地域づくり

1 地域活性化助成事業（4,000 千円）

淡路島の活性化を図るまちおこし事業、文化・芸術事業、地域交流事業等のソフト事業又は国生み神話、御食国、日本遺産など「国生みの島」に関連した事業を実施しようとする団体に対して上限 20 万円の助成を行う。

2 淡路島誘客支援事業（6,150 千円）

「あわじ環境未来島構想」の取組や環境保全への取組を学ぶ学習ツアーを、貸切バスを利用して実施する団体へ経費の一部助成を行う。また、淡路島名誉大使の桂文枝さんを起用した誘客キャンペーンを県民局等関係団体と連携して実施する。

《内容》

(1) あわじ環境未来島バスツアー助成事業

「あわじ環境未来島構想」の関連施設や環境学習施設にて各施設の取組や環境保全への取組を学習するバスツアーへの助成を行う。

- ・日帰り バス 1 台当たり上限 2.5 万円
- ・宿泊 バス 1 台当たり上限 5 万円

(2) 淡路島誘客キャンペーン

- ・淡路島名誉大使 桂文枝さんを起用した誘客 CM の製作、放送等を行う。

3 淡路島インバウンド対応推進事業（1,500 千円）

県民局等関係団体と連携してファミトリップやツーリズム EXPO ジャパン 2019 への出展を行うなど淡路島の魅力的な情報を国内外へ発信し、訪日外国人客の淡路島への誘客を促進する。

4 淡路島観光協会支援事業（4,000 千円）【新規】

淡路島総合観光戦略を推進するうえで必要な情報発信の強化や多様なコンテンツの開発、淡路島ブランドの構築など新たな課題に対応していくため、その中心的役割を担う淡路島観光協会の体制強化と事業の実施を支援する。

5 淡路島ブランド広域推進助成事業（1,500 千円）

淡路島内の地場産品を利用して、魅力ある「淡路島ブランド」を創出・育成し、広域的に事

業展開をする団体に対して上限 50 万円の助成を行う。

6 活力創生プロジェクト支援事業

(1) 淡路島ロングライド 150 支援事業 (3,080 千円)

秋に開催を予定している「淡路島ロングライド 150」の実行委員会に参画し、その経費の一部を負担するとともに、県及び淡路 3 市と協力して 4 箇所のエイドステーション(休憩所)で淡路島の食材を使ったふるまい等を行う。

(2) 明石海峡大橋橋上イベント事業

本四道路活用イベント実行委員会に参画し、地域の魅力発信のためのイベントを実施する。

ア 明石海峡大橋海上ウォーク

明石海峡大橋の管理用通路歩行

《実施予定日》

・第 1 回目：5 月 25 日(土)・26 日(日) 計 2,400 名

・第 2 回目：11 月 9 日(土)・10 日(日) 計 2,400 名

イ 大鳴門橋うずしおウォーク

民間会社との連携による大鳴門橋の管理用通路歩行

《実施予定日》

・9 月 14 日(土)・15 日(日) 計 540 名

(3) 広域連携イベント等支援事業 (4,000 千円)

淡路全島の行政、各種団体等が参画して実施されるスポーツ等のイベント、島外での淡路島の PR、自然環境保全の取組などを支援する。

(4) Awaji Art Circus 支援事業 (250 千円)

海外アーティストによる淡路島の地域資源も活用した国際アートフェスティバルの開催を支援する。

7 フィルムオフィス事業 (6,000 千円)

淡路島内での映画、テレビ、CMなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネート、エキストラの手配、撮影スタッフの宿泊斡旋等の支援を行っている「淡路島フィルムオフィス」の運営経費を負担するとともに、その事務局を運営する。

8 淡路島日本遺産推進事業 (1,910 千円)

平成 28 年 4 月に認定された淡路島日本遺産の認知度を高め、交流人口の増加による地域活性化に寄与するため島内 3 市、県民局等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画し、事業を推進する。

9 「食」専門職大学検討事業 (410 千円)

淡路地域の特性を踏まえた「食」産業分野を担う専門人材を育成する実践的な高等教育機関(専門職大学)の開設に向けた取り組みを支援する。

10 協会設立 10 周年記念事業 (1,730 千円)【新規】

協会設立 10 周年を記念し、淡路地域の活性化等の方策を考えるシンポジウムを開催するとともに記念誌を発行する。

「協会設立 10 周年記念シンポジウム」

開催日：平成 31 年 4 月 19 日

場 所：洲本市文化体育館文化ホール

テーマ：「私たちの淡路島～歴史に学び、未来へつなぐ～」

11 淡路花博 20 周年記念事業（86,000 千円）【新規】

淡路花博の開催から 20 周年の節目を迎え、淡路花博の理念である「人と自然の共生の心」を継承するとともに、豊かな自然空間を持続させながら、地域の発展に取り組むモデルとしてフェアを開催し、その事業主体となる実行委員会の事務局を運営するとともに、その事業経費を負担する。

IV あわじ環境未来島構想の推進

恵まれた特性を有しながら、人口減少・経済縮小等の課題に直面する淡路島で、地域資源を生かして、「生命つながる持続する環境の島」を目指す「あわじ環境未来島構想」の実現に向けて、県・市・住民・地域団体・企業等と協働して取り組む。



【取組の 3 本柱と地域の将来目標】

- 1 あわじ環境未来島構想推進協議会の運営（1,900 千円）
住民、地域団体、NPO、企業、行政等が幅広く参画する協議会を設置・運営する。
- 2 あわじ環境未来島構想の啓発推進（1,500 千円）
構想の意義や取組についてセミナーの開催やホームページ、小学生用副読本等により広く周知啓発を行い、島民自らが持続可能な地域づくりへ取り組む機運を醸成する。
 - (1) あわじ環境未来島構想見学セミナーの開催
構想のより一層の普及啓発を図るため、あわじ環境未来島構想に基づき島内で展開されて

いるプロジェクト現場等を見学するセミナーを開催し、構想の意義や取組について啓発する。

(2) あわじ環境未来島副読本の作成

副読本を小学生高学年等に配布し、総合学習などの授業で活用することで、構想への理解を深め、子ども達が淡路島の将来を考えるきっかけとする。

(3) あわじ環境未来島情報発信事業

「あわじ環境未来島構想」専用ホームページの維持管理を行う。

3 「EVアイランドあわじ」推進事業（6,900千円）

「あわじ環境未来島構想」の柱の一つである「エネルギーの持続」の推進のため、エネルギー効率が良く、CO₂削減効果の高い電気自動車（EV）の普及に取り組む。

(1) EVタクシー・レンタカー導入補助

島内のタクシー、レンタカーを対象として、電気自動車の導入補助を行い、EVの導入促進を図る。

(2) EV用充電器設置補助

EVタクシー、レンタカーの導入促進、充電インフラ整備を図るため、充電器の設置に対して補助を行う。

(3) EV用充電器設置箇所マップの更新

EVユーザーが安心して走行できるよう平成28年度に作成したEV充電器設置箇所マップの内容を更新し、充電器設置施設等に配布することにより充電インフラ整備の促進を図る。

(4) EVアイランドあわじ推進協議会の運営

EVアイランドあわじの推進を図るための普及啓発及び充電器の利活用等に向けた協議並びに情報交換を行う場として、協議会を設置・運営する。

4 淡路島 農と食の体験ツアー（500千円）

島内外の一般消費者及び農と食に関心のある親子等を対象に、農作物のブランド化などの取組を進める農業生産法人等への現地見学や農業体験等ができる体験ツアーを開催し、「農と食の持続」を推進する。

5 竹資源供給体制整備モデル事業（3,500千円）

島内に豊富に存在する竹資源を、バイオマスエネルギーとして活用することにより、淡路島特有の再生可能エネルギーを創出するとともに、放置竹林の拡大を防止するため、地域住民が自ら行う竹林整備活動等に対して、資機材費などの支援を行う

6 エネルギーの地産地消促進事業（家庭用蓄電池の導入支援）（4,500千円）

太陽光発電の自家消費対策として家庭用蓄電池を導入する島民に対して設備費の一部を支援することにより、家庭部門におけるエネルギーの地産地消を促進する。

7 住民参加型太陽光発電事業（住民参加型くにうみ太陽光発電所）（46,867千円）

県立淡路島公園隣接用地に建設したメガワット級（約1MW）の太陽光発電施設を運用し、売電事業を行う。

V 普及啓発（12,000千円）

当協会が実施する事業を広報するとともに「人と自然の豊かな関係をきづく“公園島”」にふさわしい淡路島のイメージを島内外に広く発信する。

- 1 ホームページの運営
当協会のホームページの運営を行う。
- 2 協会広報紙の発行
当協会の概要や事業を紹介する広報紙を作成し、配布する。
- 3 各種媒体を使った広報
ノベルティグッズ（「2020 花の札所カレンダー」や花の種等）を配布するとともに、地元情報誌など各種媒体を通じて協会事業を紹介し広報を行う。
- 4 事業への協賛
行政機関、各種団体等が実施する事業に協賛する。
- 5 全国ふるさと甲子園
「映画やドラマのロケ地」と「ご当地グルメ」をテーマに、どれだけ多くの方がその地域を訪れたいかを競うイベントに（一社）淡路島観光協会、淡路県民局、淡路島フィルムオフィスと共同で出場する。